



ブルーヌーボー金彩花絵パネル
両手付飾壺対 1854年

幻の陶磁器 セーブル

岡崎市旧本多忠次邸企画展

邸宅美術館Ⅱ

平成27年11月28日(土)~12月27日(日)

会場●岡崎市旧本多忠次邸 開館時間●午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日●月曜日

入館料●一般 300円、小中学生 150円 ※岡崎市内在住・在学の小中学生、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介助者、Withカードをお持ちの方は無料

主催●岡崎市 協力・監修●ロムドシン



ブルーヌーボー地金彩天使図
両手足付シャルダニエ 1874年

岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU
〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

岡崎市旧本多忠次邸企画展

幻の陶磁器 セーブル

1740年フランス・パリ郊外のヴァンセンヌで始まった軟質磁器の窯は、1756年パリとヴェルサイユを結ぶ街道沿いにあるセーブルの地に移され、フランス国王ルイ15世とボンパドゥール夫人の庇護を受け、王立セーブル磁器製作所が誕生しました。製作所からはフランスの王侯貴族の生活を豊かに彩る製品が次々と生み出され、更にはヨーロッパの諸王家からの注文品や、外交上の贈答品も多数製作され、「セーブル」は18世紀後半のヨーロッパ磁器の流行の中心的存在となりました。

その後、フランスの歴史とともに政変や大戦を乗り越えてきたセーブルの窯は、現在も国立の窯として、国賓への贈答品の製造を主に手掛けています。そのためセーブルで焼かれる磁器は生産量も限られ、市場に出回る製品もわずかという、まさに「幻の磁器」となっています。

伝統を受け継ぎながらも常に新しい風を受け入れ、時代を象徴する精緻で、気品溢れる作品を作り続けてきたセーブル。ルイ王朝のロココ趣味から、ナポレオン帝政期のアンピール様式、ルイ・フィリップやナポレオン三世の重厚な19世紀の様式、アール・ヌーヴォーやアール・デコ様式の作品まで、まるで花園のように薫り立つセーブルの世界をお楽しみください。

関連イベント ギャラリーツアー

内容／ロムドシンスタッフが展示作品をわかりやすく解説します。

日時／平成27年11月28日(土)、12月13日(日) 各日14時～

参加料／入館料のみ必要
申込み／当日会場へ



岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

アール・デコ女性像 1929年

ビスクマーキュリー像 1920年

ラビンの花瓶NO.13 アール・デコ花瓶 1936年

アール・ヌーヴォー花文花瓶 1908年

空色のリボンと花のガーランド スープディッシュ 1770年

ヴァンセンヌ 花のガーランド カップ&ソーサー 1754-55年

徳川四天王のひとり本多忠勝(1548-1610)を始祖とする旧岡崎藩主本多家の子孫、本多忠次(1896-1999)が昭和7年(1932)、東京世田谷に自邸として建てた木造2階建の洋館です。平成24年(2012)に岡崎市に移築復原され、平成26年(2014)10月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

【開館時間】 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日以降の最初の休日でない日)、1月1日～3日、12月29日～31日、展示替期間

[交通のご案内]

◎お車の場合: 東名高速道路

「岡崎インター」から約5分。

◎公共交通機関: 名鉄東岡崎駅の

②番バスのりばから東公園口方面
行きに乗り、「東公園口」下車、
徒歩3分。

